



ダンス教室講師 鈴木明倫さん(ダンサー)



Q: ダンスを始めたきっかけを教えてください。  
 A: 小学校にダンスパフォーマンスというクラブがあり、二つ上の兄がそのクラブの部長をやっていたので、小学4年生の時に自分も入部し、そこからダンス人生が始まりました。  
 Q: レッスンで大切にしていることはありますか。  
 A: 事前にレッスンの振り付けや内容は準備しますが、その日の生徒の雰囲気や環境によって一番その時間を充実できるように指導しています。楽しく盛り上げた方が良いか、真面目に熱く伝えた方が良いかなど、常に状況を見ながら自分の中の引き出しを最大限に活用しています。  
 Q: レッスンを通して生徒たちに伝えたいことは。  
 A: 一番はダンスの楽しさを伝えたいです。そこから練習や本番を通して人に感謝することや仲間と一つのことをやり遂げる達成感、人と人とのつながりの素晴らしさなど、いろいろなことを経験し、感じてもらえたらうれしいです。  
 Q: 鈴木さんにとってダンスとはどのようなものですか。  
 A: 人生を通して追求できる最高の遊びであり、何よりも熱中して取り組める仕事であり、心を満たしてくれる栄養であり、いつも側にいてくれ

鈴木さんのダンスを初めて拝見した際、カッコよさの中にとときどきバレエを見ているような繊細さと美しさがあり、思わず見入ってしまいました。ダンスは弾けている、という私の漠然としたイメージがガラリと変わりました。そして物腰、話し方も穏やか。鈴木さんの持つそんな柔らかな空気感の中で、真剣に、楽しく取り組む生徒さんたちの笑顔に毎回癒やされています。講師の方を知ってもらい、「ダンス、やってみようかな」と思ってくれたら幸いです。インタビュー形式で紹介します。 町体育協会 中島瑞穂(事業担当)

る親友のような存在であり、自分のアイデンティティーそのものです。いっぱいありますね(笑)  
 Q: これからダンスを始めた方におすすめの音楽はありますか。  
 A: 好きな音楽に合わせて体を動かすのはとっても気持ちがいいです。いくつになっても体一つで楽しめるのがダンスの魅力なので興味のある方は、ぜひ一緒に踊りましょう!  
 Q: これからダンスを始めた方におすすめの音楽はありますか。  
 A: 好きな音楽に合わせて体を動かすのはとっても気持ちがいいです。いくつになっても体一つで楽しめるのがダンスの魅力なので興味のある方は、ぜひ一緒に踊りましょう!

仲間を大切に 感謝する心を忘れずに 夢は世界へ

すずき・あきのり 10歳からジャズやストリート、バレエなど幅広いジャンルのダンスを学びました。数々の大会で受賞を重ね、ダンサーとして活躍中。2022年から北海道栄高校ダンス部顧問、Genキングしらおいクラブダンス教室講師を務める。道教育大岩見沢校卒。札幌市出身、在住。36歳。  
 「子どものころ、夏休みの楽しい時間を過ごした祖母の住む白老。二児の父となった今、白老の子どもたちと一緒に総合体育館で月2回、教室を楽しんでいます」

問い合わせ先：町体育協会 ☎82-6041

白老青年会議所 (JC) 2023年度新体制へバトン



写真左から蒲原直前理事長、戸田町長、米本新理事長、笠井専務理事

新理事長に米本智昭さん(39)が就任しました。「5年後の創立50周年という大きな節目に向け、諸先輩方から受け継いできた活動をさらに加速させるようなものにしたい」と抱負を話しました。直前理事長の蒲原亮平さん(37)、専務理事の笠井雄太郎さん(34)と戸田安彦町長を表敬訪問しました。副理事長は道見翔太さん(36)。お寺の住職でもある米本さんは「さまざまな人々を巻き込みながら、中・長期思考で幸せな社会の実現を目指したい」と願っていました。委員会も「まちづくり委員会」と「ひとづくり委員会」に大別し、まちづくりに貢献する方針です。今年の45周年を記念した事業や式典も予定しています。